

RIIT チュートリアル 2016 –科学技術計算専用言語 Julia–

受講前に必要な準備

降旗 大介, Revision 1.5

本チュートリアルには、Julia 言語・環境を使つての実習が含まれます。その実習にあたり、各受講生が行うべき準備がありますので、解説いたします。下記の内容に従って、受講当日より前に準備作業をしておいてください。

1 利用する Julia 環境に応じた準備

チュートリアルで想定している Julia の利用方法は次の二つです。それぞれに異なる準備が必要です。

1.1 JuliaBox.com を用いる方法

web browser を用いて **JuliaBox** <https://juliabox.com/> にアクセスして、用意されている Julia 環境を利用する方法です。RIIT が用意する端末を利用される場合は、この方法になります。PC を持ち込んで用いる場合、ネットワークが利用できるならばこの方法を利用できます。

事前準備作業: 以下のような準備作業をチュートリアル以前に行っておいてください。

1. **Google か GitHub か LinkedIn のアカウントを用意してください** (いずれも無料です)。JuliaBox.com はこのいずれかのアカウント情報を利用してログインする仕組みです。お持ちでない方はいずれかを取得しておいてください。その場合、特に理由がなければ、(web 上に情報が多いため) Google のアカウント取得が容易で良いでしょう。
2. <https://goo.gl/suLavo> などを参考にして JuliaBox.com にログインし、JuliaBox を少し使ってみてください (次の準備作業に必要です)。
3. <https://goo.gl/ljZ9Zb> などを参考にして、JuliaBox で “Plots package” が使えるようにしておいてください。この作業はチュートリアル当日でも可能ですが、やや時間がかかるため、事前に行っておくことをお勧めします。
4. PC を持ち込んで用いる場合、チュートリアル会場でそれなりに高速なネットワーク接続が可能であることを確認しておいてください。また、JuliaBox.com への接続に Internet Explorer を用いるとトラブルがあることが知られています。Internet Explorer 以外の web browser をインストールしておいてください。

1.2 持ち込み PC にインストールされた Julia 環境 を用いる方法

PC を持ち込んで用いる場合、その PC に事前に Julia 環境をインストールしておいて、これを用いる方法です。

事前準備作業: 以下のような準備作業をチュートリアル以前に行っておいてください。

1. 持ち込み PC がチュートリアル会場でそれなりに高速なネットワーク接続が可能であることを確認しておいてください。高速なネットワーク接続状況下でのチュートリアル実習を想定しています。
2. <https://goo.gl/haff7D> などを参考にして、持ち込む PC に Julia をインストールしてください。なお、参照 web に書かれているように “IJulia package” のインストールも行ってください。
3. <https://goo.gl/ljZ9Zb> などを参考にして、持ち込む PC の Julia 環境で “Plots package” が使えるようにしておいてください。この作業はチュートリアル当日でも可能ですが、**数十分程度の時間がかかる可能性**があるため、事前に行っておくことを強くお勧めします。

以上.